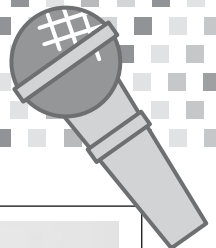


新規採用教員へのインタビュー



早川 千尋 はやかわ ちひろ
岡山県健康の森学園支援学校教諭
(令和3年度採用)

自己紹介

講師経験を一年経て、今年度教諭として採用されました。現在は中学部3年生を担当しており、個性豊かな生徒と日々勉強しています。100均巡りが趣味で、どんな教材が作れるか考えたり、実際に教材を作ったりすることが好きです。外国語を学びたいと思っています。コロナが落ち着いたら、さまざまな国に行つて、現地の人と話をしたいです。

Q 教員を目指した理由を教えてください。

自分にとって一番身近な職業が教師でした。小さい頃から英語・地理・化学が好きで、勉強することと自分の知らない世界が広がっていく感覚が楽しく、その感覚を子どもたちに伝えることができる教師になりたいと考えていました。高校の3年間、ボランティアで放課後等デイサービスに行きました。そのとき、初めて障害のある子どもと関わりました。それまで自分の身近にいなかった子どもたちと関わり、放課後に宿題をみたり、土日に一緒に遊んだりしているうちに、この子たちの先生になるのもいいなと思うようになり、特別支援学校の教師を目指しました。大学は特別支援教育の教員養成コースへ進学し、放課後等デイ

サービスのボランティアも続けることで、その思いを強くしました。

Q 実際教員になつてみて、どうでしたか。

何事も目新しく、こんな世界があつたのかというのが第一印象でした。そして、子どものことを本当に可愛く思う瞬間が多いです。

何をしていいか分からなつた子どもや、やつていることを中断させられてパニックになつた子どもに対し、日頃から使用しているスケジュールカードを見せて、今すべきことを確認し、子どもが落ち着くことができたときは、自分の伝えたいことが子どもに伝わつたと感じ嬉しく思います。他にも、子どもたちが初めてできる瞬間に立ち会えることも多く、特別支援学校の教員になつてよかつたと感じていきます。

Q 仕事の中で気をつけていることは何ですか？

子どもに対して、常に正直にしていることを心がけており、話すときは、きちんと目を見て話をするようにしています。そうす

ることで、子どもは心をひらいてくれると考えています。また、子どもたちには、いるだけで心が温まるような、人から愛される人になつてもらいたいと思つています。私自身が子どもに正直であることで、子どもは心をひらいてくれると思います。遊んだり話したりする中で、子どもたちは人と関わるのが好きになり、たくさんの人と関わることで、愛される人になると考えています。

その他、昨年度、講師をしていたときに、先輩の先生の授業を見て、説明と活動の導線は短い方が、子どもたちは活動をイメージしやすいということを学びました。今年度はそのことを意識して指導するようにしています。

Q 目指す教員像を教えてください。

人に正直でありたいと常々思つていますが、誰がモデルなのだろうと考えたときに、一番に頭に浮かぶのは、私が小学生のときの担任の先生です。その先生は子どもたちみんなから愛され、子ども一人一人のことをみてくれる先生でした。私が大きな失敗をしたときも、こっそり呼び出し、「先生も昔同じようなことがあつたんよ」と告白されたとき、とても救われた気がしました。子ども一人一人

に目を配ることができる視野の広い教員になりたいと思つています。

Q 教員採用試験の対策について教えてください。

学生時代は、教職教養や専門教養の過去問をひたすら解きました。また、岡山県出身の教員を目指す学生で集まり面接練習や模擬授業もたくさんしました。同じ目標をもつ仲間がいるというのは、とても心強かつたです。模擬授業は、昨年度の講師経験がいきたと思えます。たくさん授業をさせていただき、実践を通して気づいたことも多く、やはり場数を踏むことが大切だと思えました。

Q 休みの日は、どんなことをして過ごしていますか？

学生時代からダンスをしていて、休日はダンスをしたり、映画を観たりして過ごすことが多いです。仕事の息抜きになり、週末に大好きなダンスができることを楽しみに、平日仕事を頑張つています。また、週末にダンスをすると、「また月曜日から頑張ろう！」という気持ちになります。休日は大切にしたいなと思つています。